

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 24.11.14 第 181 回国会第 3 号

11 月 14 日（水）第 3 回の委員会が開かれました。

- 1 国民年金法等の一部を改正する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出、第 180 回国会閣法第 26 号）
年金生活者支援給付金の支給に関する法律案（内閣提出、第 180 回国会閣法第 83 号）
- ・三井厚生労働大臣から提案理由の説明を聴取しました。
 - ・後藤斎君外 2 名（民主）提出の に対する修正案について、提出者岡本充功君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・両案及び修正案について、三井厚生労働大臣、武正財務副大臣、西村厚生労働副大臣、櫻井厚生労働副大臣、糸川厚生労働大臣政務官及び政府参考人並びに修正案提出者岡本充功君（民主）に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・柿澤未途君（みんな）提出の に対する修正案について、提出者柿澤未途君（みんな）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・両修正案に対し、国会法第 57 条の 3 の規定により内閣の意見を聴取したところ、三井厚生労働大臣から、後藤斎君外 2 名（民主）提出の修正案について「やむを得ない」、柿澤未途君（みんな）提出の修正案について「反対である」旨の発言がありました。
 - ・両案及び両修正案に対し、高橋千鶴子君（共産）及び阿部知子君（社民）が討論を行いました。
 - ・ に対する柿澤未途君（みんな）提出の修正案について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。（賛成 - みんな 反対 - 民主、自民、生活、公明、共産、社民、維新）
 - ・ に対する後藤斎君外 2 名（民主）提出の修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。（賛成 - 民主、自民、公明、維新 反対 - 生活、共産、みんな、社民）
 - ・ に対する修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。（賛成 - 民主、自民、公明、維新 反対 - 生活、共産、みんな、社民）
 - ・ について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。（賛成 - 民主、自民、公明 反対 - 生活、共産、みんな、社民、維新）

（質疑者及び主な質疑内容）

永岡桂子君（自民）

- ・基礎年金の国庫負担割合を 2 分の 1 にすることについて民主党は野党時代に反対していたが、与党になってから達成すべき重要課題になったということなのか。厚生労働大臣の認識を伺いたい。
- ・今年 10 月から国民年金保険料の後納制度が開始され、3 年間に限り過去 10 年分の国民年金保険料の未納分を後納できるようになったが、現時点での申請状況とどのような周知・広報を行ってきたのか伺いたい。
- ・消費税率の引上げに伴う物価上昇により特例水準は自然に解消されるという意見もある中で、強制的に特例水準の解消を行う理由を厚生労働大臣に伺いたい。

玉城デニー君（生活）

- ・年金特例公債を 20 年間で償還することは、将来世代への負担の先送りになると考えるが、厚生労働大臣の見解を伺う。

- ・消費税増税が現役世代を中心に家計に大きな負担を与えることについての厚生労働大臣の見解を伺う。

三宅雪子君（生活）

- ・消費税増税を実施できなかった場合、年金特例公債の償還財源をどのように確保するのか伺いたい。
- ・アスペルガー症候群と診断された男性が自分の姉を殺害した事案について、大阪地裁が出所後の受け皿がないことを理由として、求刑を上回る判決を下したが、この判決に対する厚生労働大臣の率直な感想を伺いたい。

古屋範子君（公明）

- ・過去に行われてきた年金特別会計への国庫負担金の繰り延べ分が約 3 兆円存在し、その返済の道筋をつけるべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・高齢者の生活実態を考慮すれば、年金給付額の削減ではなく、経済状況の好転を優先させることにより特例水準

の解消をするべきと考えるが厚生労働大臣の見解を伺いたい。また、福祉的な措置として支給されている手当の特例水準を今回の法案で一体的に解消する必要があるのか伺いたい。

- ・老齢年金生活者支援給付金や補足的老齢年金生活者支援給付金の支給範囲についての考え方及び将来的に福祉的給付を拡充する考えに対する見解を伺いたい。

高橋 千鶴子君（共産）

- ・70代前半の方の医療費窓口負担増や本年4月の介護保険料負担増、消費税増税による負担増、今回の年金特例水準引き下げ等の負担増が重なる、高齢者の厳しい生活実態に対する厚生労働大臣の認識及び高齢者が負担増に耐えられるかについての見解を伺いたい。
- ・特別障害給付金の受給者にも障害基礎年金受給者と同様の年金生活者支援給付金を支給することに対する見解及び仮に支給した場合の対象者数と必要額を伺いたい。

阿部 知子君（社民）

- ・基礎年金制度導入時において給付水準を決める際に基準とした、家計調査の基礎的消費支出に保健医療費を含め

なかった理由を伺いたい。

- ・現在の老齢基礎年金額では保健医療に対する支出を賄えないが、高齢生活保護受給者のうち、医療費を賄えないことを理由として生活保護を受給している者がどのくらいの割合であるかの分析を行っているかを伺いたい。

柿澤 未途君（みんな）

- ・消費税は全ての国民が支払いを実感する税目であるため、消費を冷え込ませる可能性が高く、年々増加する社会保障の目的税とすることは適切ではないのではないかと。
- ・消費税増税法附則第18条の景気条項により消費税増税が実施されない可能性がある中で年金特例公債の償還財源は確実に担保されるのか。

谷畑 孝君（維新）

- ・年金制度を維持することについての厚生労働大臣の決意を伺いたい。
- ・本来は年金制度の枠組みの中で無年金者・低年金者を救済すべきであるのに、福祉的な給付措置として別立てで行う意義を伺いたい。